

CONTENTS

- 1 **協会事業** 茨城県留学生親善大使任命式
理事長就任のご挨拶
- 2-3 **GLOBAL VIEW**
世界のスポーツ特集
- 4-5 **交流の広場** Young Eyes／土浦市消防本部
Across Culture
- 6 **地球だより** 異国で優しい気持ちに気付く
県だより 新しい国際交流員を紹介します！
- 7 **For You** お知らせ
- 8 **Said & Did**



茨城県留学生親善大使任命式を行いました

茨城県国際交流協会では、国際交流活動に意欲のある県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、「ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業」を中心に積極的に参加していただいています。今年度は6月26日(土)にザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて任命式を行い、新たに45名を任命しました。これにより、17の国と地域から総勢61名が親善大使として活動することになりました。

任命された留学生親善大使は「日本に来て、学外での国際交流活動がなかなかできなかったので、色々な体験や社会貢献をしていきたい」、「国際交流を通じて、互いを理解し、友情を深めていきたい」など、それぞれ夢を語ってくれました。皆さん、児童・生徒や地域の方々と直接交流できる日を楽しみにしていました。



学校教育や生涯学習の場で外国の方と楽しく交流して、身近に国際理解を深めてみませんか。派遣先を募集しておりますので、当協会までお気軽にお問合せください。

留学生親善大使や、海外文化、料理などを紹介できる各国事情紹介講師の情報は、当協会ホームページの「多文化共生サポーターバンク」で検索できます。

(https://www.ia-ibaraki.or.jp/s_bank/index.htm)

多文化共生サポーターバンクホームページQRコード➡



理事長就任のご挨拶



理事長
根本博文

7月1日付けで、鈴木哲也前理事長の後任として理事長に就任いたしました。

様々な分野でのグローバル化の進展に伴い、本県にお住まいの外国人の方々は、年々増加し7万人を超えております。現在は、世界的に新型コロナウイルス感染症が収束せず、外国との往来が制約を受けているところではありますが、大きな流れとしましては今後も増加していくことと思います。

そうした中、日本で暮らす外国人を、「生活者」として認識し、日本人と共に地域社会の構成員として受入れていくことが、これまで以上に求められるところです。

当協会といたしましても、日本人、外国人が共に目指す多文化共生社会づくりや、県民の皆様のさらなる国際理解の促進など、国際交流団体や関係機関と連携し、社会のニーズに対応した事業を展開して参りたいと考えております。

県民の皆様方には、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Global View

世界のスポーツ特集

今回は東京オリンピック・パラリンピックの開催にちなみ、スポーツをテーマに取り上げます。スポーツはそれ自体が楽しめるだけでなく、スポーツを通じた国際交流・協力など、言葉や文化の壁を越え人々が平和的につながる手段にもなります。留学生親善大使の皆さんを中心に、世界各国で人気のスポーツなどについて聞きました。(取材・記事作成は7月から8月中旬に行いました。)

1

カソジ マイケル

(留学生親善大使／筑波大学大学院)

国籍 ウガンダ



母国で人気のスポーツベスト3

1位：サッカー 2位：ネットボール 3位：ボクシング

サッカー男子ウガンダ代表は“Uganda Cranes(ウガンダ・クレーンズ)”，女子は、ネットボール女子ウガンダ代表の“She Cranes(シー・クレーンズ)”が有名です。名前は、ウガンダの国鳥で平和や統一のシンボルであるカンムリヅル(Crowned Crane)に由来します。国代表チームの試合があると、ウガンダの人々は、カンムリヅルがかかれたTシャツを着て、ブブゼラを鳴らし、ウガンダ国旗のボディペインティングをして街を埋め尽くし、情熱をあらわします。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

コロナ禍のなか、開催準備をしてくださった日本オリンピック委員会に感謝しています。コロナによる新しい生活様式において、すべてのチームがベストパフォーマンスを出し尽くすと信じています。我がウガンダ代表へ、ガンバレ、日出ずる国でツルの輝きあれ!

4

ネケロワ マリナ

(留学生親善大使／筑波大学大学院)

国籍 ウクライナ



母国で人気のスポーツベスト3

1位：サッカー 2位：ボクシング 3位：テニス

ウクライナ人に好きなスポーツを聞くと「サッカー」と答える人が多いでしょう。プレーする人も多いですが、最近は観て楽しむ人も増えてきました。理由は、ウクライナ史上最高の元選手、「英雄」シェフチェンコがウクライナ代表監督になったからです。今年行われたユーロ2020(EURO)試合で、過去最高の成績を残し、普段サッカーに興味がない人も一生懸命応援していました。ボクシングは1990～2010年代ならクリチコ兄弟、現在ならウシク、ロマチェンコなどの強い選手がいます。普段ボクシングに興味ない人もこれら選手の試合は見逃さないでしょう。テニスは最近人気急上昇です。スピリタ選手をはじめ、強豪選手の出現とテニス施設の増加が背景にあります。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

聖火リレーには、有名人や選手だけではなく、地域の人でもランナーになることができとてもよかったと思います。一方、コロナ感染者が増加し、ワクチン接種が急がれる日本でオリンピックを本当に開催するのか…社会状況を考えると疑問に思いました。

6

栄口 ラウラ メリサ

(留学生親善大使／筑波大学大学院)

国籍 アルゼンチン



母国で人気のスポーツベスト3

1位：サッカー 2位：バスケットボール 3位：フィールドホッケー
アルゼンチンでは、スポーツといえばサッカーです。ほとんどのアルゼンチン人にとって、サッカーはパッション。バスケットボールは2000年代に、「黄金の世代」と呼ばれる選手の世代が、バスケのあらゆる大会(FIBA、五輪、W杯など)に優勝をしたことで、大変有名となりました。フィールドホッケーは特に女性のチームが有名です。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

コロナの影響で五輪が延期されたけれど、この辛い一年を乗り越えて、世界がひとつになって良かったと思います。

イギリス(スコットランド)

ケイトリン ローリソン
(元大洗町国際交流員)

ウクライナ

ネケロワ マリナ
(留学生親善大使)

シリア

ムハンマド ナジブ アルヘブラウィ
(留学生親善大使)

中国

カ ケイキョク
(留学生親善大使)

ガーナ

パーコフィ エイクス
(各国事情紹介講師)

フィリピン

サントス カリス ジョアン アレリアーノ
(留学生親善大使)

ウガンダ

カソジ マイケル
(留学生親善大使)

7

ケイトリン ローリソン

(元大洗町国際交流員)

国籍 イギリス(スコットランド)



母国で人気のスポーツベスト3

1位：サッカー 2位：テニス 3位：スコティッシュ・ダンス
(スコットランド人目線です)

イギリス人にとってサッカー観戦はお水を飲むように当たり前の存在であり、大きな決勝戦の時は街中が賑やかになるから、サッカーに関心がない人たちも惹きつけられます。テニスは、スコットランド出身のアンディ・マリー選手の影響で人気が集まりました!スコティッシュ・ダンス(伝統舞踊)は、祭りや年中行事などで、バグパイプやフィドルなどの音色に合わせ踊る、子どもからお年寄りまでが楽しめるダンスです。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

今回は様々な事情があり、人の意見も様々ですが、メダルが授与される時の選手の顔をみるとやはり嬉しくなり、そういった瞬間が今年こそ大事だと思っています。



2 サントス カリス ジョアン アレリアーノ (留学生親善大使／日立さくら日本語学校)

国籍 フィリピン



母国で人気のスポーツベスト3

1位：バスケットボール 2位：ボクシング 3位：重量挙げ
団体競技であるバスケットボールを通して、子どもたちは技術だけでなくチームワークも学びます。ボクシングは、世界大会があるとき、フィリピンでは国を挙げて応援します。厳しいトレーニングに耐えて試合に勝った選手は、人々に尊敬され、名誉を与えられます。フィリピンの人々は、貧しい生活でも、心と体の健康のためにいつもスポーツを楽しんでいます。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

東京オリンピックの重量挙げで、フィリピンの女子選手が金メダルを取りました。フィリピンがオリンピックで金メダルを取ったのは初めてのことであったので、非常に盛り上がりしました。

3 パーコフィ エイキンス (各国事情紹介講師)

国籍 ガーナ



母国で人気のスポーツベスト3

ガーナはサッカーがダントツです。男子も女子も国中でみんな大好きです。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

東京オリンピックは不運にもコロナ感染拡大に見舞われてしまい、広報や世間の注目が十分でなかったですね。本当に残念でした。

5 グロリア チャン (元茨城県国際交流員)

国籍 カナダ



母国で人気のスポーツベスト3

1位：女子サッカー
2位：ボート競技（ローイング）
3位：飛び込み

東京オリンピックでカナダの女子サッカーが感動の金メダルをゲットできて、カナダ国内のマスコミヤインターネット上が非常に盛り上がりしました。また、LGBTQの選手参加が史上最多と言われ、「多様性と調和する」という東京2020のビジョンにも合い、とてもいい刺激になったスポーツだと感じました。ローイングはカナダでとても人気のあるスポーツで、今回金メダルを勝ち取った8人チームだけではなく、普段バンクーバーの港で練習する選手たちの姿をよくみて、元気をもらいました。飛び込みは個人的に好きなスポーツで、自分では絶対にできないことなので、選手の演技を見てびっくりするのが大好きです。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

無観客で開催する大会なのに、思う以上に盛り上がり、特にインターネットが人々を繋げる現代では、ツイッター、フェスブックを通してリアルタイムで世界中の歓声を聞くことができとても感動しました。

8 カ ケイキョク (留学生親善大使／茨城大学大学院)

国籍 中国



母国で人気のスポーツベスト3

1位：バスケットボール 2位：卓球 3位：バドミントン
バスケットボールは自分でやって楽しいし観戦するのも楽しいです。卓球はバスケットボールと違って、若者もお年寄りもできる楽しいスポーツです。バドミントンは非常に奥深いスポーツなので、見応えがあります。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

日本で留学している間にオリンピックが行われて、ぜひ見に行きたいと思っていましたが、残念ながら感染症の影響で観戦することができませんでした。結果、開会式や試合をテレビで見ました。現場で見ることができず残念でしたが、友達と一緒に見たので、すごく盛り上がりました。そこで思ったのは、オリンピック精神の「よりよい世界の実現に貢献する」です。世界が一つになって、早く一緒に感染症を乗り越えることができたら良いと思います。

9 ムハンマド ナジーブ アルヘブラウィ (留学生親善大使／茨城大学大学院)

国籍 シリア



母国で人気のスポーツベスト3

1位：サッカー 2位：バレーボール 3位：空手
私自身、子どもの頃シリアで、このベスト3のスポーツ全部をやっていました。場所は立派な体育館でなく、屋外の砂や土の上、車止めがある路地裏でしたがそれでも楽しかったですよ。

東京オリンピック開催で思ったひとこと

観客がいらない状態で試合が行われたのは残念でしたが、テレビで楽しみました。シリアから多くの友達が私を訪ねてオリンピックを観戦したいと願っていたので、私もよい思い出が作れると思っていましたが、叶わず残念です。私の国が再び平和になり、世界中でスポーツをし、良い結果と金メダルを獲得することを願っています。



YOUNG EYES

令和3年6月11日（金）に開催された「第58回茨城県高等学校国際教育英語スピーチコンテスト」にて、茨城県知事賞を受賞した江口春菜さんにお話を伺いました。

スピーチコンテスト

茨城県立竹園高等学校3年 江口 春菜



私は模擬国連という活動で扱った人身売買をテーマに、英語スピーチを行いました。このスピーチには、二つの思いがこもっています。

人身売買は、ただその恐ろしさ、切迫性、深刻さを知り、怒りや悲しみを共有するだけでは現状に対する変化が望まれない問題です。正しい知識を持ち、一人一人が状況を改善しようとする行動をとることが大切です。人身売買の正しい理解のための、教育によって助けられる命もある、という事実を多くの人に知ってほしいという思いをスピーチの中で訴えました。

模擬国連という活動を知ってほしい、と感じたのもこのスピーチに込めた思いの一つです。模擬国連では主観的に物事を見るのではなく、自分が担当する国の立場に立って考えることが求められます。そして、様々な国が協力し、話し合い、問題に対する解決策を提示します。この活動を通して、他者の立場で考え、公平な解決策を導き出すことの難しさと大切さを学びました。複雑な問題を互いに交渉しあい、すべての人が納得するような解決策を模索するのは、とても楽しく、多くの人に体験してもらいたいと思う活動でした。

人身売買に対する怒りややるせなさだけでなく、模擬国連などの教育機会が与えてくれるこれらの思いを、自分の表情や声の強弱でどのように表現すれば聞いている人に伝えられるか最後まで悩みましたが、練習を重ねこの問題点を乗り越え、スピーチを良い形で終えることができました。

世界には、人身売買だけではなく私が聞いたこともないような問題が山積みだと思います。私はこれからもずっと、それらの問題と向き合い、行動していく姿勢を持ち続けたいです。

消防団に「通訳隊」発足！

土浦市消防本部

土浦市内には、約4,400名の外国人の方々が生活を営んでおります。本市では、大規模災害等により、日本語が話せない外国人被災者が多数発生することを予想し、その被災者の通訳を目的として令和3年4月1日に茨城県内初の土浦市消防団機能別消防団通訳隊を7名にて発足いたしました。4月17日には、土浦市消防本部講堂にて1名の欠席者がありましたが、新入団員6名と安藤真理子市長をはじめ、土浦市副市長、消防団幹部等が出席する中、発足式が行われました。発足式では、中国出身で茨城大学大学院に語学留学している李榕団員が代表して宣誓を行い、川崎隆義団長からは、辞令書及び機能別消防団用アポロキャップ、ベストが一人一人に手渡されました。

通訳隊の活動は、避難所で日本語が話せない被災者の通訳や罹災証明を申請する申請者の通訳となります。被災者の状態によっては、翻訳アプリで翻訳不能になるような言葉が発せられると考えられるため、表情や雰囲気などを読み取り通訳することで、可能な限り被災者の負担を軽減させられるような活動を目指しております。今後は、市の防災訓練などで、具体的な訓練を行い、有事の際に備えようと考えております。

また、現時点で通訳可能な言語は、英語、中国語、スペイン語、タイ語の4カ国語となっておりますが、今後、通訳隊団員の募集を継続していくとともに通訳可能な言語を増やしていきたいと考えております。

発足式で宣誓書を読み上げた李榕団員に、入団した理由を尋ねてみると「災害があると外国人は不安になる。自分ができれば協力したいし、勉強にもなるので活動していきたい。」とのことでしたので、これからの活躍を期待しています。



発足式で辞令書を授与



機能別消防団通訳隊発足式



ガスパリヤン・ゲオルギ
(ロシア連邦出身)
筑波大学大学院
人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群
国際日本研究学位プログラム



ここが違って、おもしろい!

Across culture

●ロシアってどんな国?

16の国家に接しているロシアはユーラシア大陸の北部に位置し、世界で一番大きな国です。世界で最も深い湖であるバイカル湖はロシアに位置しています。

また、自然が豊富な国であり、鹿や、ウサギ、オオカミなどの一般的な動物や、トラをはじめ、ホッキョクグマや、ジャコウウシなどの珍しい動物たちもいます。植物も豊かで、ロシアのシンボルである白樺やオークのみならず、日本人にも親しまれているクロマツや桜も生えています。

四季は地方によって異なります。南の方では、夏が暑く、冬が寒いのにに対し、北の方では、凍つく冬が長く、寒い夏が短いです。世界中で有名なオイミヤコン村では、-50度の気温が一般です。しかし、私の故郷であるチマシェフスク市では、冬は普段-15度で、夏は+40度です。

ロシアは多民族の国なので、一言でも多数の本でも語りきれない文化があります。料理も様々な影響を受けており、ボルシチをはじめ、ブリヌィなどのスラブ人の伝統的なものがあるし、ペリメニやピラフなどのアジア風のものもあります。

●日本へ来たきっかけは?

サントペテルブルク国立大学で学んだとき、日本学科に属していた私は、日本のことを様々な観点から勉強していました。日本語、日本文化のみならず、日本史、日本の地理、社会、日本人の価値観などをロシア人と日本人の先生に教えてもらうにつれて、日本に関わる興味が高まってきました。

現在は、筑波大学の修士2年生であり、勉強のみならず、日本人や外国人との文化交流や、国内旅行、日本の伝統的な芸術などを積極的に進めています。また、



筑波大学・学園祭・カリнка(ロシア語・文化クラブ)

今学期から本大学でロシア人の先生のアシスタントとして日本人の学生にロシア語を教えています。

●ロシアと日本のここが違って、おもしろい!

いずれの国でも社会に出る前に、行儀の特殊性を考えなければならぬと思います。最も面白い特徴の1つは、日本人の贈り物の扱い方だと思います。日本では、プレゼントをもらったら、即座にそれを開けて、感謝して、またその後もう一回感謝するのが、行儀がいい流れです。しかし、ロシアでは、贈られたものをすぐに開けずに感謝して、また一人でいるときプレゼントを開けて、もう一回感謝するというのは、行儀がいい仕方です。こうした1つの段階だけが違う日常生活における小さいやり取りは軽く見えるかもしれませんが、理解できれば、お互いに尊敬する友好関係が構築できると信じています。

また、ロシアと日本のもう1つの面白い文化的な相違点として方言があります。ロシア語は広くて大きいロシアのどこで話しても同じです。しかし、日本語は標準語のみならず特殊な方言もあります。その方言は多いし、日本人もわからないほど異なる言葉や言い方があり、数えきれないです。方言は時々交流を進め難くするのですが、日本文化の多様性も伝えるものだと思います。また、日本の様々な都道府県の友達ができて、彼らの方言の特徴について聞かせてもらって、勉強になります。

●あなたの将来の目標について教えてください

コロナウイルスのせいで、多くの人々の将来の計画などが変化していると思います。この状況を受けて、私の将来の目標も少しか変わってきました。筑波大学を卒業してから、日本にもう少し滞在して、活躍しようと思っています。そのために就職活動を進めるか、勉強を続けるか、まだ分かりませんが、ロシアと日本の架け橋になりたいと思っています。



京都市四条河原町・祇園祭

異国で優しい気持ちに気付く

茨城県上海事務所長 渡辺 達彦



投資説明会で茨城をプレゼン。

茨城県上海事務所は中国への進出企業に対するサポートや県産品販売促進、茨城との空路・海路の充実、観光誘客等に取り組んでいます。そして現在特に力を入れているのが対日投資、中国資本の茨城への誘致です。中国企業の対日投資意欲は旺盛で、中でも研究開発拠点やものづくり技術が集積する茨城県は投資先として注目されつつあり、事務所職員一同、中国各地を飛び回って企業経営者や地方政府に対する営業活動に明け暮れています。

私たちの事務所がある上海市長寧区は、日本総領事館や日系企業、日本の自治体事務所が数多く立地し、日本人が多数暮らしているので、道を歩けば日本語が溢れ、日本食レストランも全て回るのは不可能なくらい沢山あります。そんな日本語、日本食に関する外国あるあるです。これまで外国で風変わりな日本語や日本食に出会った経験はありませんか？そしてそんな時、日本人に意見聞けばいいのになって思ったりしませんか？

先日、知り合いの中国人に「友人が日本食レストランを始めたから食べて意見して」と頼まれ、行ってみました。聡明な皆様には、もうオチが見えましたね？嬉しそうに次から次へと料理を出してくれる中国人の店主さんに対し「まずい、食えたもんじゃない」なんて言えるのは美食家の先生が新聞記者だけで、現実には「まったりとして美味しい」以外の回答選択肢は存在しないのです。

お分かりいただけましたか？外国でよくある変な日本語や日本食は、ちゃんと日本人の意見も聞いていたのです。日本人の優しさ(気弱さでは断じてありません)の表れなんです。今後は新感覚の日本語だね！とか、この日本食、初めてだよ！っていう優しくして前向きな気持ちで接しましょう。



事務所近くの「新世紀広場」には日本と同じ味の本格和食店が多数。



日系デパートで茨城の工芸品を販売。意外と高価なものがよく売れる。

News from Prefecture 県だより

新しい国際交流員を紹介します！

茨城県営業戦略部国際渉外チーム 主事 やんべ 山家 仁美

茨城県では、総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会が実施する語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム：The Japan Exchange and Teaching Programme)を活用し、学校や教育委員会等で語学指導等を担う外国語指導助手(ALT：Assistant Language Teacher)及び地方公共団体の国際交流担当部局で国際交流活動を担う国際交流員(CIR：Coordinator for International Relations)を任用しています。

今般の新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、諸外国からの来日は大幅に制限されています。そのような中ではありますが、2021年の夏、茨城県にも新しい国際交流員が着任しましたので、県庁で働くお二人を紹介します！

ジョナス・ウィスナー(Jonas Wisner)さんは国際渉外チームの国際交流員です。アメリカのカリフォルニア州出身で、趣味は12歳から始めたギターです。学生時代は日本語、日本文化を学ぶため茨城県に留学した経験もあります。2年間国際交流員を務めた和歌山県の高野町観光振興課から茨城県に異動してきました。高野町では、世界中から訪れる観光客に向けて、世界遺産である高野山の案内や通訳、翻訳の業務を行っていました。

セイディ・ジェイコブス(Sadie Jacobs)さんは、高校教育課に初めて着任した国際交流員です。アメリカのカリフォルニア州出身で、趣味はヨガやハイキングです。高校生の頃から動画配信サービスをきっかけに日本の文化や日本語に興味を持つようになり、国際交流や異文化理解の大切さを学びました。茨城県では、アメリカの文化や言葉を通して、海外に触れる機会の少ない方々を支えていただけたことと思います。

外国からの訪問客の接遇、外国語刊行物の翻訳、イベント等の際の通訳、国際交流事業の企画、立案及び実施にあたっての協力、助言など、国際交流員の業務は多岐に渡ります。明るく前向きで、日本語も堪能なお二人には、茨城県の国際交流の推進のために活躍していただけたことを楽しみにしています。



ライブでギターを弾くジョナスさん



セイディさん、Devil's Punch Bowlにて

for You...

第31回外国人による日本語スピーチコンテスト発表者を募集します！



令和4年2月19日(土) 13:00~16:30にザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールで開催予定の「第31回外国人による日本語スピーチコンテスト」の外国人発表者を募集します。県内で生活している外国人の皆さんが、日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など国際理解を深めるテーマについて発表できる絶好のチャンスです。出場者全員に豪華賞品を用意しております。たくさんの方々のご応募をお待ちしております。(応募方法や締切など詳細は10月以降に協会ホームページに掲載予定です)

◀昨年はオンラインで開催。写真は2020年2月にザ・ヒロサワ・シティ会館で開催した時の様子。

「外国人のための一日無料弁護士相談」のお知らせ

今年度、筑西市と土浦市において外国人対象の休日無料弁護士相談を実施いたします。相談時、下記9言語の通訳が可能ですので、母国語で弁護士に相談したい外国人の方はぜひこの機会をご利用ください。

【筑西市】日時 令和3年11月14日(日) 10:00~15:00(受付14:30まで)
場所 しもだて地域交流センター「アルテリオ」(筑西市丙372番地)

【土浦市】日時 令和4年2月6日(日) 10:00~15:00(受付14:30まで)
場所 土浦市役所(土浦市大和町9-1)

相談内容 在留資格、労働問題、結婚、税金、保険、その他生活全般
※相談無料、秘密厳守、通訳付き

対応言語 日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語

問合せ先 (公財)茨城県国際交流協会 外国人相談センター
TEL: 029-244-3811 FAX: 029-241-7611
E-mail: iia_consul@ia-ibaraki.or.jp

賛助会員を募集しています！

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるよう、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々や交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援をもとに、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円(1口以上)
	個人会員	1口 3,000円(1口以上)

※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。



●令和3年度 団体賛助会員(令和3年7月末現在) ※敬称略

石岡商工会議所	鹿嶋国際交流JCサークル	株式会社 つくば研究支援センター
「茨城アジア教育基金」を支える会	鹿嶋都市開発 株式会社	電機連合茨城地方協議会
いばらき印刷 株式会社	鹿嶋埠頭 株式会社	那珂市国際交流協会
一般社団法人 茨城県医師会	鹿嶋臨海通運株式会社	日本原子力発電 株式会社 東海事業本部 地域共済部
公益財団法人 茨城県開発公社	鹿嶋臨海鉄道株式会社	日本語学校 つくばスマイル
茨城県火災共済協同組合	神栖市国際交流協会	日本労働組合総連合会 茨城県連合会
一般財団法人 茨城県環境保全事業団	北茨城国際交流会	ハングル初級教室
茨城県行政書士会	株式会社 光和印刷	ハン サラン
一般社団法人 茨城県経営者協会	古河市国際交流協会	常陸大宮市国際交流協会
一般財団法人 茨城県建設技術管理センター	国際ソロプチミストつくば	日立商工会議所
一般財団法人 茨城県建設技術公社	コスモエコー	広沢商事 株式会社
茨城県市長会	コトブキ印刷 株式会社	ふじの会
社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会	JA茨城県中央会	フレンドリーあんず
茨城県商工会議所連合会	株式会社JTB	フレンドリージャパンワールド
茨城県商工会連合会	下館商工会議所	水戸内原国際交流ふれあいの会
茨城県信用組合	株式会社 常陽銀行	水戸商工会議所
茨城県信用保証協会	常陽保険サービス 株式会社	水戸信用金庫
茨城県青年海外協力隊を育てる会	昭和建設 株式会社	水戸ユネスコ協会
茨城県世界青年コミュニケーションクラブ(WYCCO)	鈴縫工業 株式会社	メックス 株式会社
茨城県中小企業団体中央会	関商事 株式会社	メサフレンドシップ
茨城県町村会	センター印刷 株式会社	株式会社 めぶきリース
茨城県日中友好協会	株式会社 高野高速印刷	ワタヒキ印刷 株式会社
公益社団法人 茨城県薬剤師会	筑西市国際友好協会	
株式会社 茨城ポートオーソリティ	チョッ サラン	
株式会社 茨城読売IS	株式会社 筑波銀行	

他1社 計73団体

皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

「外国人児童・生徒に対する日本語教育支援者向け養成講座 実践編」の受講者を募集します！

近年、日本語学習支援が必要な外国籍の子どもたちが増えています。そのような子供たちへの日本語教授法を学ぶことを目的に、今回は、(公社)国際日本語普及協会(AJALT)より講師をお招きして、模擬授業やグループワークなどを取り入れたより具体的な実践的な内容の講座を行います。

日時・内容 第1回…11/18(木) 10:00~16:00

- 生活のための日本語指導と教科指導の違い
- 教材作成

第2回…11/25(木) 10:00~16:00

- ボランティア教室での活動紹介
- 教科書を使った実践的な日本語支援

場 所 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 集会室10号
(水戸市千波町後川745)

対 象 県内日本語ボランティア教室で活動中の方および今後活動予定の方

受 講 料 無料

申込方法 申込書記入後協会に提出(FAX、メール、郵送等) 10/25(月) 必着
(申込書は協会HPよりダウンロード可能)

問 合 せ 詳細は当協会(担当:中根)まで



新人紹介



池田 久子

4月から総務課に勤務しております池田と申します。私はこれまで、県において保健福祉部等の部署で総務関係に従事しておりました。当協会は、県内国際交流団体や在住外国人等との幅広いネットワークを持ち、多文化共生から国際交流、人材育成など地域に根差した様々な事業を展開しており、日々新たな発見と気づきの連続です。皆様のお役に立てるよう努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



新井 江梨子

3月より県国際交流協会内のJICA茨城デスクに国際協力推進員として勤務しております、新井と申します。以前はJICAの青年海外協力隊に参加し開発途上国でボランティア活動をしていました。今回、茨城県で再び国際協力に関われることを嬉しく思っています。JICA茨城デスクでは、個人・団体からの相談受付、JICA海外協力隊、開発教育(国際理解教育)支援事業等担当しております。JICA事業やJICA筑波との連携にご関心をお持ちの方はお気軽にご連絡頂ければ幸いです。

Said & Did

令和3年度 国際理解教育講師等派遣事業 (ワールドキャラバン)

国際理解教育のため、県内の小・中・高・特別支援学校、生涯学習団体等に、外国人講師等を派遣します。申請団体の希望により、オンライン交流も可能です。

今年度既に実施した団体からは、「日本の文化との違いについて驚いたし理解を深められた」「講師の先生の明るなお話しぶりで、その国に対しての印象も明るくなった」などの感想をもらいました。

コロナ禍により海外との往来ができない状況だからこそ、県民の皆さんにとって異文化を身近に感じる機会として活用いただきたいと思います。

学校・団体にて費用負担が可能な場合、通年で申請を受け付けております。詳細は当協会ホームページをご参照のうえ、ワールドキャラバン担当者までご連絡ください。



令和2年度 活動の様子

第1回クエスト茨城留学生研修を 実施しました

約2年ぶりとなる夏のクエスト茨城留学生研修を、感染対策を徹底した上で7月10日(土)に実施しました。本ツアーは、留学生が茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送ることを目的としており、留学生20名が参加しました。

今回は笠間市を訪問し、関東最古の焼き物産地での陶芸体験と、日本三大稲荷の一つである笠間稲荷神社見学を実施しました。

陶芸体験では、伝統ある窯元からの丁寧な指導の下、笠間焼のフリーカップ作りを体験しました。ほとんどの留学生にとって初めての体験でしたが、思い思いの装飾をほどこしたり、母語でメッセージを彫ったりと、オリジナリティのある作品づくりを楽しむことができました。

神社では、神職に境内を案内していただき、お清めや参拝の作法を実践しました。留学生たちは積極的に質問をし、歴史ある神社と日本文化について学ぶことができました。

バスツアーを通して、地域のあたたかさや日本の伝統文化に触れたり、他の学校の留学生と仲良くなれたり、充実した一日を過ごすことができました。



※撮影のため、一時的にマスクを外しています

ネットワーク会議を開催しました

7月16日(金)、Zoomオンラインにて、県内の市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体を対象に、研修、相互連携、及び情報交換を目的とした令和3年度国際交流・協力ネットワーク会議を開催し、104名の方にご参加いただきました。

午前の全体会基調講演では、一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏に「新たな共生施策の推進と地域に求められる取り組みについて～コロナ禍でも加速する外国人受入れの課題と展望～」と題し、日本の外国人受け入れ制度の変遷、新型コロナ感染拡大により外国人が直面している問題、今後の多文化共生推進に向け地域レベルで求められている取り組みについてお話をいただきました。

午後は、2つの分科会に分かれ、各テーマについて事例発表、講義を行いました。第1分科会は、「多文化共生時代の地域防災について考える」をテーマとして、一般社団法人多文化社会専門職機構事務局長、公益財団法人仙台観光国際協会の菊池哲佳氏より、多文化共生時代に求められる外国人住民の社会参加についてのワークショップ、発生から10年を迎えた東日本大震災やコロナ禍の現状を踏まえ地域防災についての事例等などをお話いただきました。第2分科会では、はじめに「茨城県による外国人児童・生徒の日本語教育の取り組みについて」をテーマに、県教育庁義務教育課指導主事入之内昌徳氏と筑波大学人文社会系准教授澤田浩子氏より発表、次に「茨城県地域日本語教育の体制づくり」の説明と取り組みの様子を県協会の加藤雅春氏、ひたちなか市国際交流協会理事兼地域日本語教育担当の仙波美哉氏が発表し、その後意見交換等を行いました。



基調講演(一財)ダイバーシティ研究所 田村太郎氏

春期世界文化セミナー

毎回、様々な国籍の講師を迎え、茨城県国際交流員の司会と共に、英語でのディスカッションや質疑応答を交えながら授業が進められました。特に参加者が興味を引いたのは「ドイツ連邦議会選挙」についてで、ドイツの政治システムや今年秋に行われる連邦議会選挙の次期首相立候補者同士の関係などが話題として取り上げられました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、オンライン開催となりましたが、たくさんの方にご参加いただきました。

